



海の事故ゼロキャンペーン



2026.7/16▶31

海の事故を防止するには、海事関係者、漁業関係者、マリンレジャー愛好者はもとより、海運、漁業活動の恩恵を享受している国民の皆さまにも、海難防止について関心を深めていただくことが重要です。このため海難ゼロへの願いをスローガンとし、海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的とした運動「海の事故ゼロキャンペーン」を実施します。




主催/ (公社) 日本海難防止協会 (公財) 海上保安協会 海上保安庁


小型船舶などの海難防止

- 適切な発航前検査の実施 
- 整備事業者等による定期的な点検整備の実施 

ライフジャケットの常時着用など自己救命索の確保

- ライフジャケットの常時着用 
- 防水パック入り携帯電話など連絡手段の確保 
- 緊急通報電話番号の有効活用 **海の「事件・事故」は118番**

見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

- 常時適切な見張りの徹底 
- 船舶間コミュニケーションの促進
- 漁ろう中の船舶との衝突防止

東北地方における重点項目

- 小型船舶の運航不能の減少
 - 漁業者の海中転落及び負傷事故の減少
 - 釣り中の岸壁等からの海中転落の減少
 - 遊泳中の事故防止及びライフジャケットの着用推進
- ※東北地方における事故の発生状況と対策についての詳細は、裏面へ

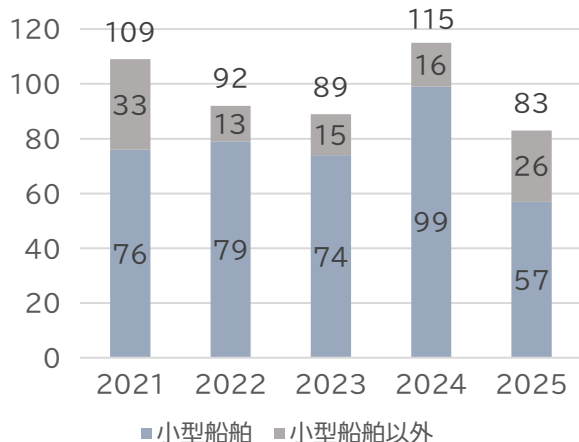
みんなで守ろう
みちのくの海



東北地方における 船舶・人身事故の発生状況と対策

船舶事故発生状況

例年70~80%は小型船舶の事故
その内46%が運航不能!



小型船舶の運航不能（機関故障等）が多く発生しています！

適切な発航前検査の実施

燃料、エンジンオイル、バッテリー、冷却水などの検査を確実にし、機関故障等の事故を防止しましょう。

発航前検査は船長の義務です！
発航前検査チェックリストを活用し確実に実施しましょう

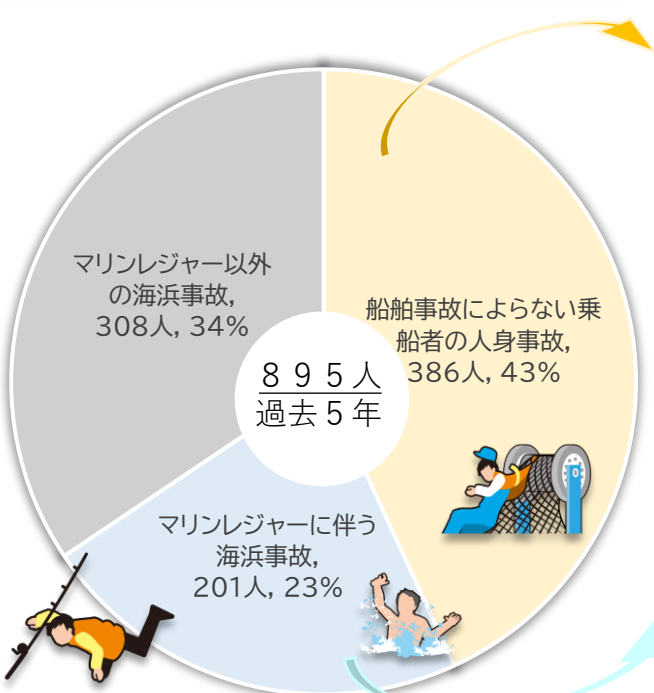


整備事業者等による定期的な点検整備の実施

「中古艇」は特に点検整備が重要です。整備事業者等に依頼し、整備不良に伴う事故を防止しましょう。



人身事故発生状況



乗船者の事故では、**漁船での負傷**や**海中転落事故**が多く発生しています！

救命胴衣の常時着用等自己救命索の確保

船体動揺に伴う海中転落を防止し、救命胴衣を常時着用しましょう。



投揚網作業中による事故防止

裾や袖口を押さえる等、投揚網作業中の手袋、衣服の巻き込まれに注意しましょう。

マリレジャーに伴う海浜事故では、**釣り中の海中転落**、**遊泳中の事故**が多く発生しています！

釣り場の状況に応じた装備の確認

立入禁止区域には絶対に入らず、ライフジャケットや状況に応じた履物などの装備を準備しましょう。



遊泳中のライフジャケット着用

遊泳中の死亡者のほとんどが溺水です。浮力を確保するため、ライフジャケットを着用しましょう。



第二管区海上保安本部 海の安全推進本部(交通部安全対策課)

〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1 TEL022-363-0111(代表)



海の安全情報 WaterSafetyGuide

